



本社工場

高強度ウレタン

○本社所在地：大阪府和泉市テクノステージ

○事業概要：ゴム・樹脂ロール製造販売及び
各種装置の開発製造

○常時使用する従業員：145名
(2025年10月時点)

○現在の売上高：27億円（2024年9月期）

○法人番号：1120101041707

○Web：http://www.technoroll.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



企業理念・我々は独自の技術を創生し、世界に問う
独自の技術を通じて社会に貢献する

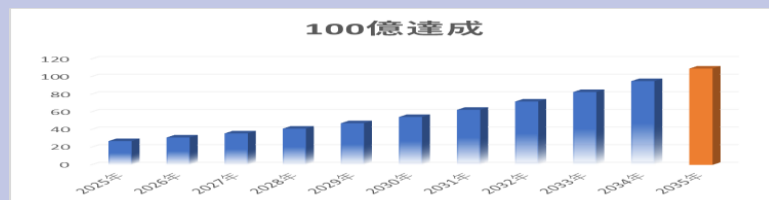
肩書 代表取締役社長
氏名 畑中一辰

今年45周年を終え55周年までに100億円企業を目指し達成する。45年間利益を出し続けていて近隣の小学校や中学校へのバスケットボールやバレーボールの寄付や企業版ふるさと納税等実施していますが、更に多くの地域貢献や社員の成長を促し大幅な改善待遇を実施したい。又現在9ヶ国10社のライセンシーにメイドインJAPANの樹脂原料を販売しているが更に3ヶ国以上ライセンシーを増やす計画を立てて世界制覇を目指す

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の100億売上高達成に向け、年率15%程度の成長を目指す。



課題

1. 現在、和泉市テクノステージに第5工場まで稼働しているが、新事業に取り組むスペースが無い。
2. ゴム・及び樹脂原料の海外からの受注に対して生産設備のキャパが少なく納期が掛かり過ぎ大きな受注ができない
3. 関東工場の設備稼働率が、人員の問題で100%にならない
4. オフセット印刷がデジタル印刷に変わってきている為にメイン事業の印刷用ロールの減少が考えられる

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

売上高100億円達成のための具体的措置について

2027年に新工場の建設と設備投資による海外向け輸出用原料の生産体制増強
新たな海外ライセンシーの構築（インドネシア・インド・アメリカ・カナダ・ブラジル等をターゲットに展開）各国の展示会に出展計画を立てる
新事業のTEC走行ラックによる新分野進出を展示会等で開発する

実施体制

1. 社長直轄の体制で400坪程度の土地を購入し生産の自動化を目指した新社屋の建設(2027年迄に実施)
2. 技術開発部が機器の選定を行い、輸出用原料（ゴム・樹脂）の納期短縮を図る設備を導入する
3. 海外営業部長直轄で各国の展示会を調査し出展する事で認知度をアップさせる
4. 機械販売部による新分野の開拓を実施する（冷凍倉庫用移動ラックや、室内栽培用の移動ラック等異業種への展開を図る

売上高100億円実現の目標と課題

テクノロール株式会社単独申請とする

10年後に単独100億企業達成のため新製品開発や製造の自動化、海外展開の拡充を全社員共有し、毎年チェック機能を入れて進捗を補正しながら進めていく。

課題：現在の工場は人のパワーが必要な自動化への設備投資が遅れている

ベトナムに設計事務所を出したがまだまだ機能していない

工場が狭くなり新製品の組み立て場等取れない

関東と関西の物流コストや廃棄ゴムの産廃費が高額

海外ライセンサーへの売り上げ金額が伸び悩んでいる

印刷関連ゴムロールの製造がメイン事業だが、オフセット印刷がデジタル印刷に変わってきている為ゴムロールの需要減が見込まれる

2026年度から2027年度迄は2社の100%子会社の特徴を最大限利用して前年15%以上の販売目標を実現する

宝製作所の研磨事業を利用し売り上げの大幅アップを図る

テクノダナンでの、新規事業のウレタン注型機械の設計・製作して、テクノロールが輸出するウレタン樹脂原料販売に向けて注型機械も同時に販売する計画を立てる事により、ライセンサーの拡大を狙う

2026年～2030年 新工場の完成とFA（ファクトリーオートメーション化）を進め工場の自動化を推進する
廃棄ゴムの再利用のシステムを完成させ、産業破棄物を大幅に削減しSDGSの環境に注力する
新分野への展開を進めて行く

2031年～2035年 海外への販売戦略を達成させる（ライセンサー3社以上獲得）
新製品の走行ラックの販売強化や、新たな新製品の構築及びM&A等を利用し100億企業を達成する